

会報

2026.8
第23号

ふれあいの会

兵庫県在宅保健師の会

会員数 118人 (令和8年5月1日現在)



会長 あいさつ

兵庫県在宅保健師の会 会長 有馬 富子

この度、会長に就任しました有馬富子と申します。加古川市役所を定年退職し、幹事として会の活動に参加してきました。前任の西垣悦代会長には到底及びませんが一生懸命に務めさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

さて、毎月のように色々な製品の値上げの上にホルムズ海峡の問題でナフサ由来製品による医療の関連製品や日用品の不足で医療費等の高騰及び生活の困窮が懸念され、受診を控える人もいるような声を聞きます。また、AIの発達により何でも答えてくれるため相談する人も出てきていますが、人の体は個々人の違いも大きく本当の対応ができるかどうか不安も出てきます。

そのようなときこそ人と人とのつながりで正しい医療受診をはじめ生活習慣改善の支援が必要となります。地域の人々の健康づくりに長年の知識と経験の専門性がある在宅保健師が力量を発揮する時ではないでしょうか。会員皆様の一層の貢献が期待されています。

今年度は「認知症」にテーマを絞り5月の総会では「認知症治療のいま」と題して兵庫県立リハビリテーション西播磨病院の高橋竜一先生に講演頂きました。10月には認知症当事者による研修会も計画しています。是非多数のご参加をお願いいたします。

本会のますますの発展には皆様のご理解ご協力があってこそです。そのためには、県や市町の保健師の部署との連携や情報交換、研修等により知識の吸収、そして何よりも仲間同士のふれあいや助け合いによる活動が大切と考えています。また新たに在宅になられました保健師への声掛けを行っていただき新規会員の増加につながればと思っております。

在宅保健師パワーを大いに発揮でき、楽しく元気に活動できる会に共に進めて行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします、ご挨拶といたします。

令和8年度役員紹介

会 長	有 馬 富 子		副 会 長	久木田 美 幸 (但馬ブロック)
副 会 長	美 濃 千 里 (阪神ブロック)		幹 事	清 水 美代子 (東播ブロック)
幹 事	柳 瀬 厚 子 (阪神ブロック)			大 垣 早 苗 (北播ブロック)
	宇 野 小百合 (西播ブロック)			佐 野 静 子 (但馬ブロック)
	田 畑 茂 美 (丹波ブロック)		常任幹事	宮 崎 博 美
	中 野 恵 子 (淡路ブロック)			

● 令和8年度総会・研修会 ●

令和8年5月20日(水)、令和8年度兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）総会・研修会を兵庫県国民健康保険団体連合会において開催した。

【総 会】（出席者：33名）

西垣会長の挨拶のあと、兵庫県国民健康保険団体連合会山元専務理事、来賓兵庫県保健医療部健康増進課山下課長からご挨拶をいただいた。議案事項として、令和7年度事業報告、令和8年度事業計画、また役員改選年度であり、役員選出についての議案審議が行われ、いずれも原案のとおり可決された。

最後に、会長の退任挨拶で締めくくられた。



【研修会】（出席者：33名）

1. 講 演：「兵庫県の保健師活動の状況」

講 師：兵庫県保健医療部健康増進課
課長 山下 久美 氏

山下課長から、兵庫県内の保健師設置状況、年齢構成等から生ずる育成における問題等活動上の課題の報告のあと、保健活動実践力向上と業務効率化に向けた取り組み、ICTの活用も推進している現状が報告された。



2. 講 演：「認知症治療のいま」

講 師：兵庫県立リハビリテーション西播磨病院
認知症疾患医療センター長
高橋 竜一 氏

高橋竜一医師から、認知症、MCIの基本知識及び、新規抗認知症薬の適用について、また早期診断、治療を県下で行うことの難しさが提言された。早期発見のための地域住民啓発、継続診療・保健医療サービス及び福祉サービスによる共生社会の実現が重要であることが強調され、参加者からも、認知症疾患医療センター、講師に期待する活発な発言もなされた。



◆ 令和8年度 第2回研修会のご案内 ◆

在宅保健師として、地域における保健福祉活動を実施していくにあたり、関係分野の最新の情報や知識を得るとともに、会員相互の交流を図ることを目的に、研修会を開催します。

<開催日時> 令和8年10月20日（火）午後1時～

<場 所> 兵庫県国民健康保険団体連合会 18階大会議室

<講 師> 一般社団法人 セカンド・ストーリー
代表理事 山中 しのぶ 氏

<テ ー マ> 「認知症になってからのセカンドストーリー」（仮）

●会長退任あいさつ●

西垣悦代

令和6・7年度、兵庫県在宅保健師の会会長を務めさせていただきました。この間、会員の皆様、地区幹事の皆様、そして国民健康保険団体連合会事務局の皆様には温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。広い兵庫県各地で工夫を重ねた地域活動に触れ、保健師の底力と連携の力を改めて実感いたしました。今後は一会員として、繋がりを大切に、研鑽を重ねてまいります。

会のさらなる発展を祈念し、退任のご挨拶といたします。

●副会長・幹事退任あいさつ●

副会長 桑田 美恵子（西播ブロック）

1日、1か月、1年が年を重ねるごとに早く過ぎていくと感じています。幹事の仕事が何もわからないまま西播ブロックの幹事を引継いで気付けば8年になっていました。コロナで活動できない時期もありました。

西播ブロックは地域的にもかなり広い地域です。各市町を行き来する交通機関もあまりなく、会員同士の交流をはかることが出来なかったことが心残りです。会長をはじめ、各ブロック幹事、会員、事務局の皆様には本当にお世話になりました。ありがとうございました。

今後は一会員としてまず健康に留意し、脳細胞がさびついてしまわないようないろいろなことに興味をもち、研修会や交流会にも参加したいと思っています。

山吹 まゆみ（阪神ブロック）

神戸地区の幹事を2期4年間務めさせていただきました。保健師の諸先輩方との交流は、退職後消え入りそうな保健師魂を呼び覚ます機会となり、感謝致します。今後は、地域の方々と仲良く朗らかに人生を歩みたいと思っています。会員、幹事、事務局の皆様、お世話になり、ありがとうございました。

稲川 なをみ（丹波ブロック）

神戸の海が見える会議室。新鮮体験で、たくさん学ばせていただいた2年間でした。国保連合会の皆様の下支えがあってこそこの“ふれあいの会”ですが、私達にできる事は、研修会やブロック活動に出席して学び、繋がりを深める事だと改めて思っています。役員会はとても楽しく参加させていただきました。今後も会の発展を祈念いたします。

東 美 鈴（淡路ブロック）

入会者の増加を願い、淡路拡大保健師交流会を毎年企画しました。懐かしいメンバーが集い、「来年も楽しみにしている」という人もあり、SNSグループは21名となり、入会も微増しました。組織活動を主たる活動の一つとしていた保健師だからこそ、退職後も他の職種同様、組織的な集まりは大事と思うので、次期幹事に託したい。

●新幹事あいさつ●



柳瀬 厚子
(阪神ブロック)

このたび、阪神ブロック幹事を務めさせていただくことになりました。よろしくお願いします。

諸先輩方の活動を継承し、会の発展に努めて参ります。特に、日頃の活動に生かせるよう、有意義な研修会や交流会の運営に取り組みたいと考えております。多くの皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いします。



清水 美代子
(東播ブロック)

このたび、ブロック幹事をさせていただくことになりました。

退職後は「住民主体の保健活動」にこだわって地域づくりの活動を、また精神障がい者や認知症の当事者の会等の運営に関わっています。

これらの活動からの学びを活かしつつ、微力ながらも研修会や交流会等のお手伝いをさせていただきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



宇野 小百合
(西播ブロック)

在宅保健師の会は名ばかりの会員で、役員の苦勞も知らず今まで十数年入会していますが、今になりどのような活動をするのか、何もわからない状況です。西播ブロック幹事の宇野小百合です。在宅保健師の会が発展しますように頑張りたいと思います。どうかご協力の程よろしくお願いします。



田畑 茂美
(丹波ブロック)

ふれあいの会には深く考えずに入会しました。丹波ブロックでは、研修会後の食事会が楽しみで参加していました。今回幹事をさせていただくことになり、今更ながら、「兵庫県在宅保健師の会」設立趣意書を読み返しております。傾眠状態の保健師魂を目覚めさせ、会員の方々と共に頑張ります。よろしくお願いします。



中野 恵子
(淡路ブロック)

初代会長の地元というプレッシャーに責任を感じております。前ブロック幹事、東さんの提案で、会員だけでなく、広く退職した行政保健師の方にもお声掛けをして年1回の交流会を企画し、親睦を図っています。あわよくば新規会員獲得をと秘かに目論見しております。保健師の仲間の繋がりを紡ぎ、地域づくりの一端が担えたらと思っています。よろしくお願いします。



会員の皆さま、どうぞ、よろしくお願いいたします。



●令和7年度活動報告●

●都道府県在宅保健師等会連絡会

日 時 令和7年11月25日(火) 13時30分～17時
場 所 サウスヒル永田町(千代田区永田町1-11-30)
出席者 会長 西垣 悦代 事務局 田中 順也

<出席報告>

令和7年11月25日、東京永田町にて6年ぶりとなる集合研修が開催された。冒頭、国民健康保険中央会原理事長より、コロナ禍で対面開催を控える中、会員減少や役員不在、国保連財源の減少など多くの課題が顕在化している現状が報告され、今後は地域づくりの視点を重視しつつ体制を検討する方針が示された。続いて厚生労働省健康・生活衛生局健康課保健指導室後藤室長より、保健師採用の地域差や若手育成、指導世代不足の課題と在宅保健師への期待が述べられた。また、特定健診第4期計画では、保健指導による行動変容の効果を点数化して評価する仕組みが導入される旨の説明があった。最後に在保の会6府県の実践報告が行われ、多職種参画や研修強化などの取り組みが共有された。

<会長 感想>

コロナ禍後、久しぶりのあつまりが実現し、会の地域活動の工夫など、初めてお出合いしたとは思えないほど大変話が弾む会となった。

<事務局 感想>

他の都道府県では、活動内容として、「通いの場」の健康教室で講師をするといった兵庫県と異なる活動状況を聞き、非常に参考となった。

●兵庫県在宅保健師の会第2回研修会

日 時 令和7年10月23日(木) 午後1時～午後4時
・講義「第4期特定健診・特定保健指導について～第4期のポイント～」
講師 川崎市立看護大学副学長・学部長 荒木田 美香子 氏
・会員交流会

特定健診・特定保健指導の変遷や基本的な考え方、第4期で追加された、アウトカム評価を主軸とした特定保健指導の展開を学んだ。受診勧奨値以上の方への対応、健診後の体重増加を防ぐ、具体的な目標設定、インセンティブやICTの活用とドロップアウトの防止についてである。

受診行動には、動機付けが重要であるが、その目標設定では、動機づけの効果として可能性が50%のところが一番強まること、また、やる気は行動理論で説明でき、知識や態度、社会的常識、執行力・統制力等で行動は設定されるので、いかに「やる気を起こさせるための情報提供する」その重要性がわかった。

例えば、事前に「生活習慣の振り返りができる問診票」を活用すると、短時間でどこに興味・関心があるか把握でき、具体的で有効な目標設定が出来るなど特定健診時の保健指導にも活用できることを学んだ。

社会とつながりながら、自己効力感50%を目指した保健指導力の必要性、エビデンスに基づき活動する保健師としてのモチベーションがあがった研修であった。



佐野 静子(但馬ブロック)

●令和7年度活動報告●

●ブロック別交流会

ブロック	開催日	内 容	参加人数
阪神	令和7年11月5日	講座「特殊詐欺、悪徳商法対策について」・施設見学	13
東播	令和8年2月27日	講演「人生会議をしよう」等	11
西播	令和7年7月25日	兵庫県市町保健師協議会西播ブロック研修会参加 講演「認知症になってからも自分らしく～笑顔と希望の社会参加を～」	3
北播	令和7年9月9日	令和7年度第1回兵庫県在宅保健師の会北播ブロック情報交換会	7
	令和8年3月4日	令和7年度第2回兵庫県在宅保健師の会北播ブロック情報交換会	8
但馬	南但 令和8年3月21日	令和7年度第1回及び第2回在宅保健師の会研修会の復講 等	7
	北但 令和8年3月14日	講演「認知症になってからのセカンドストーリー」 令和7年度第1回及び第2回在宅保健師の会研修会の復講 等	6
丹波	令和8年3月6日	講演「丹波篠山市の母子保健について」 令和7年度在宅保健師の会研修会の復講 等	7
淡路	令和8年1月20日	講演「洲本市に暮らす母親の育児困難感と自己効力感」 ～日本公衆衛生学会での報告をもとに～ 等	11

●特定健診未受診者等対策支援事業

支 援 市 町 ①加古川市 ②川西市

支援実施期間 ①令和7年6月～9月 3時間×32回 ②令和7年11月の3日間 5時間×3回

従事保健師数 ①3名 ②2名

①特定健診未受診者勧奨事業に参加して

宇野 小百合(西播ブロック)

数年ぶりに加古川市国民健康保険加入者の健診受診勧奨をしました。不審な電話が多々ある中で実際に電話に出てもらえるかどうか疑問でしたが、平日の日中に4割程度対象者と話ができました。健診受診勧奨だけではなく心身の状況、今おかれている環境、など幅広く相談支援できる機会となりました。相談内容によれば窓口の情報、連絡先を提供するなど30分以上電話での対応も多々ありました。健診未受診者は医療機関に受診している人が多く、健診の意義をしっかりと伝えることが大切であることを感じました。医療機関との連携をさらに深め、一体となって健診の必要性を啓発できれば受診率向上につながっていきますが、現実是多難です。一步一步理解を求めながら進めていき、少しでも地域の一助になればと思いました。

②特定保健指導未利用者利用勧奨事業に参加して

美濃 千里(阪神ブロック)

昨年に引き続き、川西市の標記事業に参加させていただきました。事前に、市と国保連合会関係職員の方々と、今年度の目標等について丁寧な打合せ会を行っていただきました。昨年度の事業実績、効果評価は今年度のモチベーションとなりました。また、終了後の報告会では、新たに導入されたICTによる保健指導の利用者も得られたことは、時代を感じるのと同時に、新しい挑戦の意義を実感したところです。

主目的ではないのですが、今年度の健診を予定していない方も少なくなく、健診の意義、生活習慣病予防の重要性を少しでもご理解いただけた感触が得られる瞬間は喜びです。電話によるコミュニケーションには限界がありますが、この事業が、市民の方々の保健行動につながるきっかけとなったのであれば幸いです。

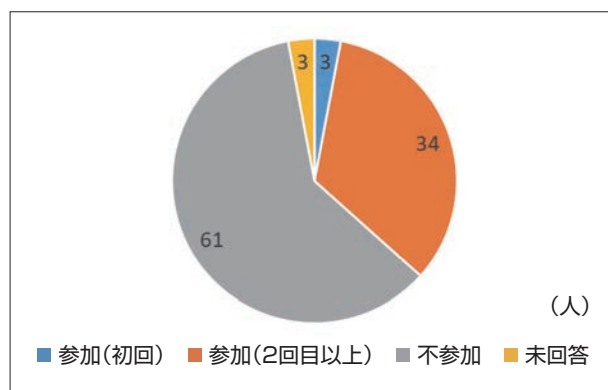
● 令和7年度兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）活動状況調査 ●

調査対象者：129人
回答者：101人
回答率：78.3%
調査年月：令和8年2月

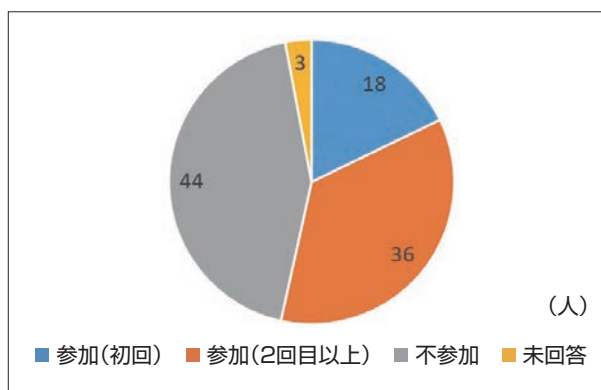
1 令和7年度の会員の活動状況について ※は複数回答

① 「在宅保健師の会」の活動について

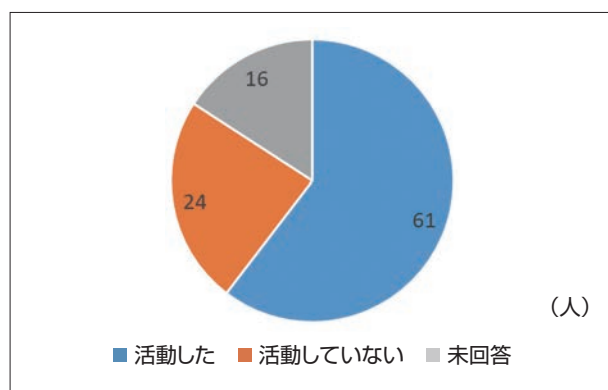
①-1 総会、研修会 参加の有無



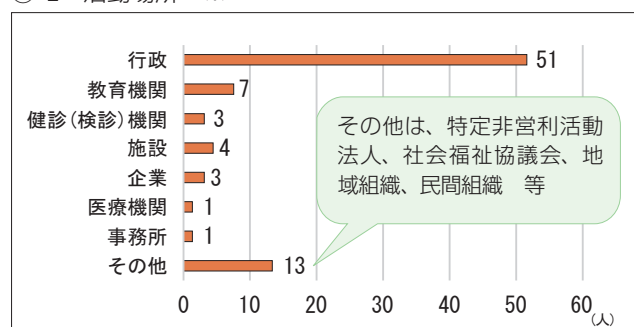
①-2 ブロック交流会参加の有無



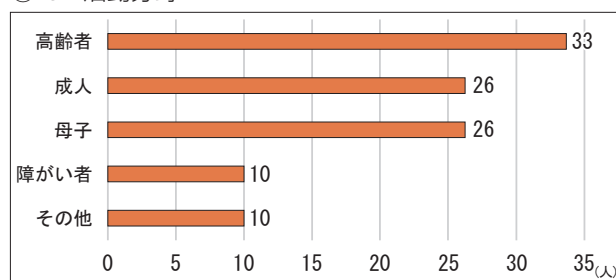
② 「在宅保健師の会」以外での活動について



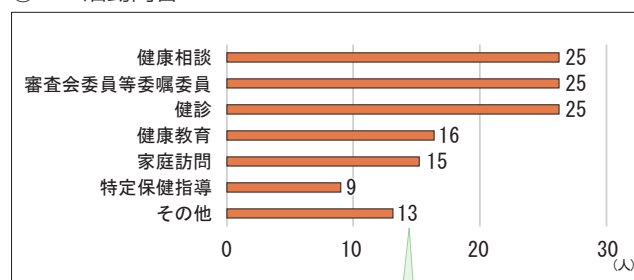
②-2 活動場所 ※



②-3 活動分野 ※



②-4 活動内容 ※



③ 活動日数は月に「1～5日」が最も多く、次いで「6～15日」でした。

2 在宅保健師の会へのご意見やご要望について（新規会員拡大に向けての意見等）

- ・ 会員の高齢化に伴う会員数の減少を危惧している。退職希望者への入会の勧誘ができればと思う。
- ・ 新規会員の確保のために、現職保健師との交流の場が必要ではないでしょうか。
- ・ 魅力的な研修会を非会員も体験参加し、入会の動機付けになるよう呼びかけの工夫ができればと思います。

●会員だより●

私の地域活動について

高 田 緑（北播ブロック）

今の私は「こども食堂」にはまっています。この事業は、今から約4年前9人の有志が集まり、ボランティア活動プラザの協力のもと、何回も何回も顔を突き合わせ煮つめてやっと生まれたものです。

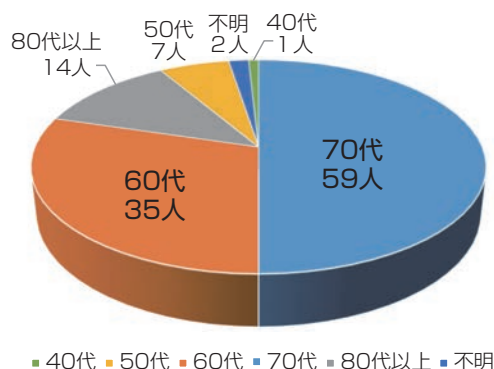
◎保健所への相談◎事業費の確保◎こどもや保護者・地域の人達の理解等課題はいっぱいありました。

やっと県市等の補助金等事業運営の財源に目途がつき、小中学校・自治会等に理解していただき、待望の第1回「なかよし食堂」を開催することが出来ました。

今思えば生活環境、年齢等異なることの多い仲間ですが、思いが同じと言う事は大きな力になりました。これからもこども達の笑顔と地域の方々の暖かさを支えに（ぬくもり）のある地域活動を行っていきたいと思っています。

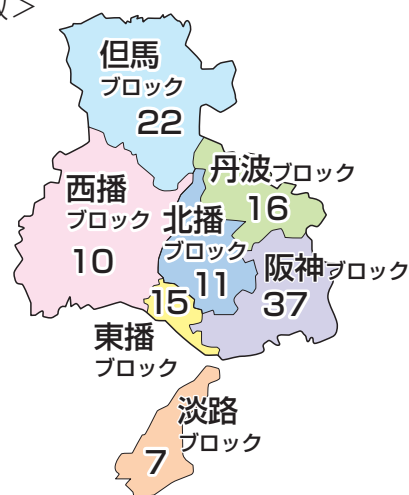
●令和8年度会員の状況●

<年齢構成>



会員数118名 ※令和8年5月1日現在

<ブロック別会員数>



●新規会員募集●

県内在住等で保健師の資格をお持ちで、常勤されていない退職された方や、臨時・嘱託で勤務されている方々、豊かな経験を活かし、地域のみなさんと一緒に健康づくりに取り組んでみませんか？

ご入会希望につきましては、事務局までご連絡をお待ちしております！



編集後記

会報23号を発行するにあたり、会員の皆様、関係者の方々に多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。本年度は、会長をはじめとし役員の改選があり、役員会も若返りました。社会の変化、会員の減少などで、活動も縮小気味でしたが、会員の皆様の知恵と行動力で、地域支援活動を考えたいと思います。そうすることで、会員同士の交流の場を広げ、つながりを深め、魅力ある会になることを祈ります。今後も皆様からの近況・活動報告をお待ちしています。

【会報委員】 宇野 小百合、美濃 千里、宮崎 博美、柳瀬 厚子

兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）事務局
 兵庫県国民健康保険団体連合会 保険者支援部事業課保健事業係
 〒650-0021 神戸市中央区三宮町1丁目9番1-1801号
 TEL (078) 332-9503 FAX (078) 332-5694
 E-mail : hokenjigyo@kokuhoren-hyogo.or.jp

●事務局紹介●

【担当】

小川係長(保健師) 内田主査(保健師)
 米川主任(保健師) 田中主任